

日教振第106号  
令和3年11月18日

関係各位

一般財団法人日本語教育振興協会  
理事長 佐藤 次郎

令和3年度日本語学校教育研究大会における  
「実践ちょっと見」募集について（ご案内）

当協会の運営につきまして、日頃から御支援を賜り深く感謝申し上げます。

当協会では、日本語教育機関に勤務する教職員等のための「日本語学校教育研究大会」を実施しており、今年度も令和4年2月26日(土)、27日(日)にオンラインで実施いたします。(開催は、別途お知らせします。)

大会では、各日本語教育機関における実践・事例の報告、意見交換の機会として、発表の場を設けております。令和3年度は別添募集要項により、「実践ちょっと見」を募集いたします。参加者が日本語教育に係る実践(今年度は特にオンラインで実践されたこと)を自由に、気軽に、共有することを目的としています。

つきましては、発表希望がある場合は、来る12月17日(金)までに別紙申込書によりEメールで当協会事業部あてお申し込みください。

記

- 1 日 時 令和4年2月26日(土) 10:00~16:30  
2月27日(日) 10:00~14:45
- 2 実施方法 ZOOMによるオンライン開催
- 3 日 程 [1日目・2月26日(土)] ○講演 ○分科会  
[2日目・2月27日(日)] ○分科会 ○実践ちょっと見

※「実践ちょっと見」は2月27日(日)の13:30~14:00又は14:15~14:45のいずれか30分間を予定しています。

※日程・時間は変更になる場合があります。

添付資料

○「実践ちょっと見」募集要項

【 問合せ先 】

事業部 小野寺陽子 ・ 渡部

TEL 03-6380-6557 FAX 03-6380-6587

Eメール [y-onodera@nisshinkyo.org](mailto:y-onodera@nisshinkyo.org) URL [www.nisshinkyo.org](http://www.nisshinkyo.org)

## 令和3年度日本語学校教育研究大会「実践ちょっと見」募集要項

一般財団法人日本語教育振興協会（以下「日振協」という。）が主催する令和3年度日本語学校教育研究大会（以下「本大会」という。）における「実践ちょっと見」を以下により募集します。

### 1 発表資格・発表内容

- (1) 発表資格：①日振協維持会員及び準会員である日本語教育機関に勤務する教職員（日本語教員・生活指導担当者・事務職員等。専任・非常勤の別を問わない）。  
②上記①以外の教職員等
- (2) 発表内容：今年度オンライン（ハイブリッドやハイフレックスも可）、または対面で行った日本語教育（授業関連）、生活・進路指導、入学・選抜・在留管理等、日本語教育機関における教室内外の留学生教育にかかわる実践・事例の報告及び新たに開発した教材やシステム等の紹介とします。

発表は、事前のオンデマンドによる動画配信で行います。質問は、google form 等による事前受付と当日 ZOOM でも受け付けます。

発表時間	（事前動画）事前動画による発表時間は15分以内とする。 （当日質疑）当日の質疑応答は30分設ける。
使用機器	オンライン（ZOOM）による発表にあたり、以下の機材等をご準備ください。 ・ PC、タブレットなど ・ スピーカー、イヤホン ・ ウェブカメラ ・ マイク ・ インターネット環境 ※当日は、ZOOM の画面共有機能を使用してパワーポイント、動画等の資料を共有していただくことが可能です。

### 2 応募要領と採否

- (1) 申込み：別紙1「申込書」と別紙2「発表要旨」に記入の上、Eメールに添付し、日振協事業部 [y-onodera@nisshinkyo.org](mailto:y-onodera@nisshinkyo.org) に提出してください。
- (2) 締切：令和3年12月17日（金）必着
- (3) 採否：申込み内容について、日本語学校教育研究大会専門委員会で審議し、12月下旬に通知します。採択に際しては、同委員会の判断で発表タイトル等の修正を求め、あるいは発表内容に助言をする場合があります。  
なお、発表資格②の応募者枠は2枠以内とさせていただきますので、ご注意ください。

### 3 採択から大会当日まで

- (1) 発表動画と予稿集原稿作成
- (2) 動画及び予稿集原稿提出（Dropboxにて提出）※令和4年2月4日（金）提出締切予定

～WEB上で動画公開・視聴者からの質問受付～

(3) 動画視聴者からの質問確認

(4) 当日の質疑応答で質問に答える

※動画・予稿集原稿作成、提出方法については採否の通知と一緒にお知らせします。

※発表題目、発表者の変更について：

①採択後の発表題目、発表者の追加・変更は、原則として、認められません。

②本大会までの間に氏名・所属に変更が生じた場合は、日振協事業部あて速やかに連絡してください。

#### 4 その他

(1) 参加費：各発表への参加費用は不要です。

また、発表者2名まで研究大会参加費が無料になります。

(2) 実施に関し必要な事項は、その都度連絡いたします。

日本語教育機関の当初認定番号又は会員番号

## 令和3年度日本語学校教育研究大会における「実践ちよっと見」申込書

令和3年 月 日

一般財団法人日本語教育振興協会理事長 宛て

申込み者(該当する口にチェックしてください)

- 日振協会員の日本語教育機関(発表資格①)
- 日振協会員以外の日本語教育機関(発表資格②)
- その他(発表資格②)

標記大会における発表を下記のとおり申し込みます。

記

発表内容(発表内容が含まれる主な分野として該当する口にチェックしてください)

- 日本語教育       事務・生活指導       その他 \_\_\_\_\_

発表のテーマ		
ふりがな	①	②
発表者氏名		
	③	④

(注) 共同発表者がいる場合は、全員の氏名を御記入ください。

発表代表者には、氏名の頭に○印をつけてください。例:○日振太郎

所属先	
職名	
連絡先住所	
メールアドレス	
電話番号	

## 「実践ちょっと見」発表要旨

発表テーマ	
-------	--

※参加者が分かるような具体的なテーマを設定すること。

## 〔発表要旨〕

- ①このテーマを選んだ背景
- ②このテーマについての実践やデータ
- ③このテーマに関しての気づき、今後の課題
- ④「実践ちょっと見」で期待すること

以上の①～④の全ての項目を項目ごとに記入してください。

計500字～1000字程度

用紙は、2枚以上になっても差し支えありません。